

研究シーズ

岩手大学

シーズ名	畜産・ウシ・繁殖/黒毛和種牛における分娩後早期の定時授精による受胎性とこれに続く経腔採卵-胚体外生産	分類：11
所属 / 職 / 氏名	附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター 御明神牧場 / 助教 / 平田統一	
キーワード	経腔採卵 (OPU)、体外受精・培養 (IVP)、分娩後早期の定時授精 (TAI)、腔内挿入型プロジェステロン・エストロジェン放出剤 (PRID) を用いた排卵同期化、定時胚移植、受胎率の向上	

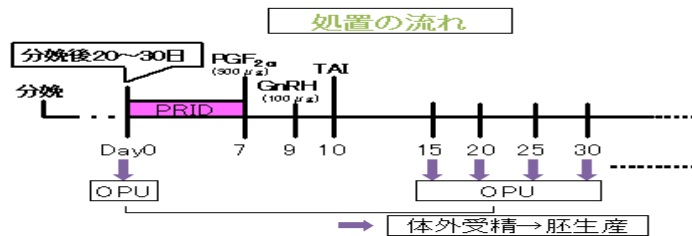
どんな技術？

一言アピール

分娩後のごく早期に、OPU で卵巣中の卵胞を吸引除去し、その直後から PRID を併用した排卵同期化と TAI を実施し、さらに OPU-IVP を連続実施することで、授乳の有無にかかわらず高率に受胎させ、かつ大量の黒毛和種牛胚生産が可能である。

【研究成果の内容】

子牛に授乳している、あるいは早期離乳した黒毛和種経産牛に対して、分娩後 16~37 日の早期に OPU で卵巣中の卵胞を吸引除去し、その直後から PRID を併用した排卵同期化と TAI を実施し、さらに TAI 後 7 日前後の間隔で 3 回の OPU-IVP を連続実施することで、分娩後早期に受胎させ、かつ大量の牛胚生産が可能である。



何に使えるの？

- 1) 遺伝的、経済的に価値が高い黒毛和種牛から効率的に移植可能胚を大量に生産できる。
- 2) 分娩後空胎期間を延長せずに 1 年 1 産を達成できる。
- 3) ある牛群に対し、分娩後早期 (50 日以内) に TAI し、70%前後の高い受胎率を達成できる。
- 4) ホルスタイン種等を受胎牛として活用し、乳牛から黒毛和種産子を得ることで乳肉複合経営が確立できる。
- 5) 高泌乳牛の後継牛を効率的に生産できる。

関連特許

なし

関連資料等

FSC御明神牧場、TEL:019-692-3031、FAX:019-691-1016
メールアドレス: hirata@iwate-u.ac.jp